

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	郷土食による地域の魅力アップ事業	
事業主体 (連絡先)	信州おやき協議会 (〒380-0904 長野市七瀬中町 276 長野商工会議所内 TEL 026-227-2428)	
事業区分	主	⑥ア特色ある観光地づくり
	関連	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業	
総事業費	438,480 円 (うち支援金: 328,000 円)	

## 事業内容

**2/10 (土)、11 (日) 東京の長野県情報発信拠点「銀座NAGANO」で「信州おやきとりんご祭り」を開催した。**

イベントには、おやき店・果物農家が、長野県産のりんごを使った「信州おやき」やりんごの加工品・りんごを共同して販売し、信州おやきのブランドの周知、県農産物のPRを行った。

## 1. 県農産物を使った新規商品の開発

県内のおやき店全14店がりんごを使ったおやきを開発した。新規開発にあたっては、会員事業所が互いに情報交換し、また、果樹農家から助言を受けるなどして、商品をつくり上げた。

## 2. 銀座NAGANOでのPR販売

2月10日、11日の2日間にわたり、おやき店・果物農家合計10店が参加し、一斉に販売を行った。りんごのおやき、りんごの加工品・りんごをあわせて販売した。

## 3. 長野県内での新規商品の一斉販売

新規開発のりんごのおやきを、長野県内の14店でも、2月3日～18日の2週間にわたって一斉に販売した。販売にあたっては、統一したシールを貼り、のぼり旗やタペストリーを一斉にかかげPRを行った。

## 事業効果

## 信州おやきの振興・新規商品開発

銀座NAGANOでの「信州おやきとりんご祭り」は、県下10店の事業者が参加し、1300個を超える商品が短時間で完売した。また、県内では全14店がりんごを使ったおやきを開発販売し、1万個を販売した。のぼり旗やタペストリー、シールなどを活用、またチラシ1万部を作成し長野市内の事業所や市民、銀座NAGANOでの来場者に配布し、SNSも用いて郷土食・県農産物のPRを一斉に行った。

## 今後の取り組み

新規開発したりんごを使ったおやきを定番化させ、継続して販売し地域農産物の活用を促進する。県外客への土産品として定着させ、県外客が長野を訪れるきっかけとなるようなPRを行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。「A」: 予定を上回る効果が得られた  
「B」: 予定していた効果が得られた 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



銀座NAGANOでのおやき販売の様子



果樹農家とコラボして開発したりんごのおやき

## 【目標・ねらい】

- 伝統的な信州の食文化を保全し、観光資源特産品として発展させること。
- 地元農産物の振興が望まれる中、果樹生産者と協働して、地元農産物を使った新規商品を開発、長野県の情報発信拠点で首都圏の市民に向け、信州伝統食の魅力を伝えること。

## 自己評価【A】

【理由】東京で10店、長野県下で14店と首都圏と長野県をむすび、過去にない大きな規模で事業者が一斉にりんごの信州おやきを販売。東京で1300個以上、長野県下で1万個を販売するなど、具体的な成果をあげた。